

議会だより

平成20年2月臨時会・3月定例会

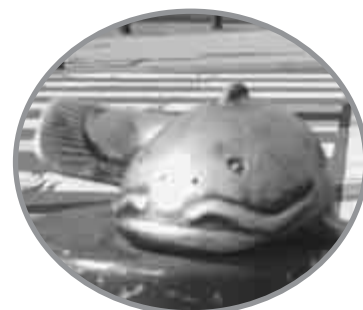


写真 上：吉川駅南口ロータリー
左：桜と中川
右：おあしす周辺の車止め

平成20年は吉川名物や名所
をご紹介します。

主な内容

- | | |
|-----------------|---------------------|
| ② …… 2月臨時会の概要 | ⑧～⑨ …… 施政方針に対する代表質問 |
| ③ …… 新議員の紹介 | ⑩～⑪ …… 平成20年度一般会計予算 |
| ④～⑥ …… 3月定例会の概要 | ⑫～⑭ …… 常任委員会の審査概要 |
| ⑦ …… 3月定例会審議結果 | ⑮～⑰ …… 市政に対する一般質問 |

2月臨時会

市議会議員の改選に伴い、議会の構成を定めるための臨時会が平成20年2月6日に開催され、正副議長、常任委員、組合議会議員等が選出されました。

選挙第1号 議長の選挙

選挙第2号 副議長の選挙

選挙第3号 東埼玉資源環境組合議会議員の選挙

選挙第4号 吉川松伏消防組合議会議員の選挙

選挙第5号 江戸川水防事務組合議会議員の補欠選挙

第1号議案 監査委員の選任について

同意

議長選挙結果

高崎 正夫	11票
佐藤 清治	4票
互 金次郎	3票
伊藤 正勝	1票
白票	1票

副議長選挙結果

野口 博	11票
遠藤 義法	4票
五十嵐恵千子	3票
稲垣 茂行	2票



新副議長に野口博議員
①年齢 62歳
②市議会議員歴 10期37年



新議長に高崎正夫議員
①年齢 61歳
②市議会議員歴 4期9年

議長就任にあたって

春は三寒四温を何度か繰り返されると思います。皆様にはご健勝のことと拝察いたします。

去る1月には、市議会議員選挙が行われ50%を下回る投票率でありました。今回の市議選は定数削減で26議席から20議席に対し、25名の立候補という大変なものでした。

2月6日の臨時議会において正副議長、各常任委員会の構成委員が決められ、新議員による議会がスタートいたしました。

私は平成8年市制施行以来第8代目の議長となり、大役と重責に身の引き締まる思いでございます。

地方分権一括法施行以来、自治体の力量が問われ、地域間競争に勝ち抜き、行政サービスを低下させることなく行政の監視機関として、さらには政策形成能力など、議会の任務は重要であります。円滑かつ有効な行政運営と議会の機能が十分発揮できるよう、議長として職務を全うする所存でありますので、ご指導ご協力をお願い申し上げます。

監査委員

齋藤 詔治

東埼玉資源環境組合議会議員

鈴木 加藏
互 金次郎
高崎 正夫

吉川松伏消防組合議会議員

松澤 正
稲垣 茂行
山崎 勝他
佐藤 清治
小野 潔

江戸川水防事務組合議会議員

中嶋 通治
小野 潔
小林 昭子

議会運営委員会

山崎 勝他 (委員長)
高野 昇 (副委員長)
松澤 正
伊藤 正勝
加崎 勇
佐藤 清治
互 金次郎

議会広報委員会

※裏表紙をご覧ください

新議員の紹介

※議席番号順

- ・議席番号
 - ・氏名
 - ・所属党派
 - ・所属委員会
- (◎=委員長 ○=副委員長)

演壇

6	5	4	発言席	3	2	1	
14	13	12	11	10	9	8	7
		20	19	18	17	16	15

5. ^{いながき}稲垣 ^{しげゆき}茂行



市民改革クラブ
文教福祉

4. ^{やすだ}安田 ^{しんや}真也



民主党
総務水道

3. ^{まつざき}松崎 ^{まこと}誠



自由民主党吉川市議員団
◎文教福祉

2. ^{なかじま}中嶋 ^{みちはる}通治



自由民主党吉川市議員団
○建設生活

1. ^{まつざわ}松澤 ^{ただし}正



自由民主党吉川市議員団
◎総務水道

10. ^{さとう}佐藤 ^{せいじ}清治



日本共産党吉川市議員団
総務水道

9. ^{かざき}加崎 ^{いさむ}勇



自由民主党吉川市議員団
総務水道

8. ^{やまざき}山崎 ^{かつた}勝也



自由民主党吉川市議員団
建設生活

7. ^{すずき}鈴木 ^{かぞう}加藏



自由民主党吉川市議員団
○建設生活

6. ^{いとう}伊藤 ^{まさかつ}正勝



市民改革クラブ
建設生活

15. ^{のぐち}野口 ^{ひろし}博



自由民主党吉川市議員団
総務水道

14. ^{おの}小野 ^{きよし}潔



公明党吉川市議団
文教福祉

13. ^{いがらしえちこ}五十嵐恵千子



公明党吉川市議団
○総務水道

12. ^{たがい}互 ^{きんじろう}金次郎



公明党吉川市議団
◎建設生活

11. ^{たかの}高野 ^{のぼる}昇



日本共産党吉川市議員団
建設生活

20. ^{たかさき}高崎 ^{まさお}正夫



自由民主党吉川市議員団
総務水道

19. ^{こばやし}小林 ^{あきこ}昭子



日本共産党吉川市議員団
○文教福祉

18. ^{えんどう}遠藤 ^{よしのり}義法



日本共産党吉川市議員団
総務水道

17. ^{ひぐらし}日暮 ^{すすむ}進



自由民主党吉川市議員団
文教福祉

16. ^{さいとう}齋藤 ^{しょうじ}詔治



自由民主党吉川市議員団
文教福祉

3月定例会



3月定例会は、2月28日から3月25日までの会期で開催されました。今定例会では、37件の市長提出議案、2件の請願、9件の議員提出議案が上程され、いずれも慎重に審議が行われました。

代表質問は4人、一般質問は13人の議員が行いました。要約したものをそれぞれ8ページ、15ページから掲載していますのでご覧ください。

市長提出議案

条例等

第2号議案 吉川市部設置条例の一部を改正する条例

第3号議案 吉川市防災会議条例の一部を改正する条例

災害対策基本法第16条の規定に基づき当市の地域防災計画を作成し、また、その計画の実施を推進する吉川市防災会議の委員の増員を図るものです。

第4号議案 公益法人等への職員派遣に関する条例の一部を改正する条例

第5号議案 吉川市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

第6号議案 職員の自己啓発等休業に関する条例

地方公務員法の一部改正に伴い、複雑・高度化する行政課題に対応できるよう職員の能力開発を促進する観点から、職員自らの発意に基づいて、大学などにおける修学や国際貢献のために休業することを認める自己啓発等休業制度を導入するものです。

第7号議案 職員の修学部分休業に関する条例の一部を改正する条例

第6号議案「職員の自己啓発等休業に関する条例」との整合を図るため、修学部分休業を取得できる職員の範囲の見直しを行うとともに、学校教育法の一部を改正に伴い、引用条項にずれが生じたため、改正するものです。

第8号議案 吉川市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例

第9号議案 吉川市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

新たに非常勤特別職として少年センター所長と保健指導員を設置し、非常勤特別職としての児童館長と消防委員会委員等を廃止するとともに、介護認定調査員など一部の非常勤特別職について、昨今の民間賃金などの状況を勘案し、報酬の引上げを実施するものです。

第10号議案 証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例

市の執行機関の請求に応じ、公聴会などに参加した方に対して支給する実費弁償について、現行の条例に規定された場合以外にも支給の対象とするため、所要の改正をするものです。

第11号議案 市長等の給料の特例に関する条例

平成19年度に引き続き、当市の厳しい財政状況を踏まえ、市三役の給料月額を、期限を設けて減額を行うものです。

〈期間〉平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

〈減額率〉10パーセント

第12号議案 吉川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告を踏まえ、給料表の改定を実施するとともに、国の基準を踏まえた地域手当の引下げを行うものです。

〈改正内容〉

- 給料表の改定
- 若年層に限り引上げる
- 地域手当

段階的に引下げる

第13号議案 吉川市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例

第14号議案 吉川市国民健康保険条例の一部を改正する条例

後期高齢者医療制度の創設、特別徴収制度の創設など、地方税法の改正に伴い、税法系の見直しなどを行い、税率などの改正を行うものです。

〈改正内容〉

- 第1点目 65歳から74歳の国保世帯主に課税する国保税を年金から特別徴収する。
- 第2点目 国保税に後期高齢者支援金等分を追加し、医療分と介護分の3つの課税額とする。
- 第3点目 税率と限度額を改

正する。
 ・医療分の所得割の課税率
 「100分の8・4」↓
 「100分の5・7」
 被保険者均等割の課税額
 「1万8千円」↓「3万8千円」
 限度額「53万円」↓「47万円」
 資産割の課税率と世帯別平等割額を廃止する
 ・後期高齢者支学金等分の所得割の課税率「100分の1・8」
 被保険者均等割の課税額「8千円」
 限度額「12万円」
 として新設する。
 ・介護分の限度額「8万円」↓「9万円」
 〈適用〉
 平成20年4月1日から施行し、平成20年度以後の国民健康保険税について適用する。

第16号議案 吉川市乳幼児医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

第17号議案 吉川市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

第18号議案 吉川市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

第19号議案 吉川市国民健康保険条例の一部を改正する条例

第20号議案 吉川市消防委員会条例を廃止する条例
 当市と松伏町の消防行政の円滑な運営を図るため、新たに吉川松伏消防組合において消防に関する委員会を設置したので、提出するものです。

第21号議案 市道の路線認定及び廃止について

〈認定〉
 2-11773号線 (中曽根)
 〈廃止〉
 2-11002号線 (小松川)

第22号議案 監査委員の選任について
 監査委員の大泉將平氏が平成20年4月22日をもって任期満了

となるため、再度選任することについて同意を得るものです。

第23号議案 教育委員会委員の任命について
 教育委員会委員の木村弘子氏が平成20年4月22日をもって任期満了となるため、再度選任することについて同意を得るものです。

諮問第1号 人権擁護委員の推薦について
 人権擁護委員の鈴木慶子氏が平成20年6月30日をもって任期満了となるため、その後任者として戸張美枝氏を推薦することについて意見を求めるものです。

補正予算

第24号議案 平成19年度吉川市一般会計補正予算(第4号)
 5510万5千円を減額
 〈歳入〉寄付金の計上
 地方交付税・財政調整基金の減額など
 〈歳出〉光熱水費の増額
 後期高齢者制度に伴うシステムの改修委託料など

第25号議案 平成19年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
 157万4千円を増額
 〈歳入〉国庫負担金の増額
 〈歳出〉徴収補助員報酬の増額
 国の交付金システム改修に伴う運営事業費の増額など

第26号議案 平成19年度吉川市下水道事業特別会計補正予算(第3号)
 705万2千円を減額
 〈歳入〉受益者負担金の増額
 〈歳出〉雨水施設維持管理費
 中川流域下水道負担金事業費の減額など

第27号議案 平成19年度吉川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)

第28号議案 平成19年度吉川市介護保険特別会計補正予算(第2号)
 9382万6千円を減額
 〈歳入〉介護給付費の法定負担金の減額など
 〈歳出〉施設介護サービス給付費などの保険給付費の減額など

第29号議案 平成19年度吉川市水道事業会計補正予算(第3号)
 〈収益的支出〉
 1015万2千円を増額
 固定資産除去費の増額など
 〈資本的収入〉
 2478万円を減額
 工事負担金の減額など
 〈資本的支出〉
 1億986万3千円を減額
 契約額の確定による配水管布設工事費の減額など

当初予算

第30号議案 平成20年度吉川市一般会計予算
 145億1000万円
 (前年度比95・7%)

第31号議案 平成20年度吉川市国民健康保険特別会計予算
 59億2383万7千円
 (前年度比95・7%)

第32号議案 平成20年度吉川市下水道事業特別会計予算
 13億8741万円
 (前年度比73・6%)

第33号議案 平成20年度吉川市老人保健特別会計予算

第15号議案 吉川市介護福祉総合条例等の一部を改正する条例
 老人保健法の一部改正に伴う所要の改正、平成20年度の介護保険料の激変緩和措置、介護福祉施策の一部変更をするための所要の改正をするものです。

6億2136万3千円
(前年度比22・5%)

請願

第34号議案 平成20年度吉川市農業集落排水事業特別会計予算
3337万4千円
(前年度比117・6%)

請願第1号 「消えた年金」問題の早期解決と最低保障年金制度の実現を求める意見書提出に関する請願

要旨 国民誰もが安心して老後が生活できるよ

第35号議案 平成20年度吉川市介護保険特別会計予算
20億2443万1千円
(前年度比105・4%)

請願者 金子 和夫
他129名

紹介議員 野口博 日暮進

第36号議案 平成20年度吉川市後期高齢者医療特別会計予算
3億886万8千円(新規)

請願者 全日本年金者組合 埼玉支部 支部長 川島 庄二郎
遠藤義法 安田真也

第37号議案 平成20年度吉川市水道事業会計予算

請願第2号 児童公園用地の確保についての請願

収益的収入
13億8018万5千円
(前年度比99・8%)

要旨 現在保2区南自治会内に、吉川市と地権者の好意により、児童公園400㎡がありますが、この公園は平成20年3月末日をもって、返還する

収益的支出
13億5974万5千円
(前年度比101・6%)

資本的収入
3億3254万8千円
(前年度比139・9%)

資本的支出
11億4221万9千円
(前年度比146・5%)

旨の話をもっており
ます。そこで、代替
用地を確保してい
ただけるようお願い
します。

議員提出第6号 道路特定財源の確保に関する意見書
可決

議員提出第7号 「消えた年金」問題の早期解決と最低保障年金制度等の実現を求める意見書
可決

議員提出第8号 第14号議案 吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例に対する修正案
否決

議員提出第9号 議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
否決

議員提出第2号 地デジ放送の受信対策の推進を求める意見書
可決

議員提出第3号 労働者派遣法を改正し、派遣労働者の雇用と権利を守ることを求める意見書
否決

議員提出第4号 道路特定財源の一般財源化を求める意見書
否決

議員提出第5号 食の安全・安心体制の確立を求める意見書
可決

議員提出議案

請願の出し方

- ①用紙はA4サイズを使用してください。
- ②住所、氏名(法人及び団体はその事務所の所在地、名称、代表者の氏名)、電話番号、提出年月日を記載し、必ず押印してください。
- ③署名運動による請願は、住所、氏名を自署してください。
- ④件名は端的に、要旨は簡潔に、理由は内容を詳しくご記入ください。
- ⑤表紙の紹介議員2名の署名、または記名押印が必要です。
- ⑥請願事項が複数の場合、1件につき1部を提出してください。
- ⑦道路、用水などは正式名称を記入してください。
- ⑧請願事項に関する地図や、参考資料などがあれば添付してください。
- ⑨「意見書の提出を求める請願」の場合は意見書案も添付してください。
- ⑩招集日の7日前までに提出されたものをその議会で審査し、それ以後のものは次の議会で審査することになります。

意見書の提出は、地方自治法第99条に定められた地方議会の権限のひとつであり、当該地方公共団体の公益に関する事件について、国会または関係行政庁に意見書を提出することができません。

※ 議員提出議案の可決により関係機関に提出した意見書は、吉川市議会のホームページでご覧いただけます。

3 月 定 例 会 審 議 結 果

○=賛成・×=反対

議案番号	議 案 名	付託委員会	審議結果	自 民	共 産	公 明	市 改	民 主
第2号	吉川市部設置条例の一部を改正する条例	省 略	原案可決	○	○	○	○	○
第3号	吉川市防災会議条例の一部を改正する条例	建設生活	原案可決	○	○	○	○	○
第4号	公益法人等への職員の派遣に関する条例の一部を改正する条例	省 略	原案可決	○	○	○	○	○
第5号	吉川市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	省 略	原案可決	○	○	○	○	○
第6号	職員の自己啓発等休業に関する条例	総務水道	原案可決	○	○	○	○	○
第7号	職員の修学部分休業に関する条例の一部を改正する条例	総務水道	原案可決	○	○	○	○	○
第8号	吉川市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	省 略	原案可決	○	○	○	○	○
第9号	吉川市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	総務水道	原案可決	○	○	○	○	○
第10号	証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	総務水道	原案可決	○	○	○	○	○
第11号	市長等の給料の特例に関する条例	総務水道	原案可決	○	○	○	○	○
第12号	吉川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	総務水道	原案可決	○	×	○	○	○
第13号	吉川市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例	省 略	原案可決	○	○	○	○	○
第14号	吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	文教福祉	原案可決	○	×	○	○	×
第15号	吉川市介護福祉総合条例等の一部を改正する条例	文教福祉	原案可決	○	○	○	○	○
第16号	吉川市乳幼児医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	省 略	原案可決	○	○	○	○	○
第17号	吉川市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	文教福祉	原案可決	○	○	○	○	○
第18号	吉川市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	文教福祉	原案可決	○	○	○	○	○
第19号	吉川市国民健康保険条例の一部を改正する条例	文教福祉	原案可決	○	×	○	○	○
第20号	吉川市消防委員会条例を廃止する条例	建設生活	原案可決	○	○	○	○	○
第21号	市道の路線認定及び廃止について	建設生活	原案可決	○	○	○	○	○
第22号	監査委員の選任について	省 略	多数同意	—	—	—	—	—
第23号	教育委員会委員の任命について	省 略	多数同意	—	—	—	—	—
諮問第1号	人権擁護委員の推薦について	省 略	全員同意	—	—	—	—	—
第24号	平成19年度吉川市一般会計補正予算（第4号）	各 担 当	原案可決	○	○	○	○	○
第25号	平成19年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	文教福祉	原案可決	○	○	○	○	○
第26号	平成19年度吉川市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	建設生活	原案可決	○	○	○	○	○
第27号	平成19年度吉川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	建設生活	原案可決	○	○	○	○	○
第28号	平成19年度吉川市介護保険特別会計補正予算（第2号）	文教福祉	原案可決	○	○	○	○	○
第29号	平成19年度吉川市水道事業会計補正予算（第3号）	総務水道	原案可決	○	○	○	○	○
第30号	平成20年度吉川市一般会計予算	各 担 当	原案可決	○	×	○	○	×
第31号	平成20年度吉川市国民健康保険特別会計予算	文教福祉	原案可決	○	×	○	○	×
第32号	平成20年度吉川市下水道事業特別会計予算	建設生活	原案可決	○	○	○	○	○
第33号	平成20年度吉川市老人保健特別会計予算	文教福祉	原案可決	○	○	○	○	○
第34号	平成20年度吉川市農業集落排水事業特別会計予算	建設生活	原案可決	○	○	○	○	○
第35号	平成20年度吉川市介護保険特別会計予算	文教福祉	原案可決	○	○	○	○	○
第36号	平成20年度吉川市後期高齢者医療特別会計予算	文教福祉	原案可決	○	×	○	○	×
第37号	平成20年度吉川市水道事業会計予算	総務水道	原案可決	○	×	○	○	×

請願

請願第1号	「消えた年金」問題の早期解決と最低保障年金制度の実現を求める意見書提出に関する請願	文教福祉	採 択	○	○	○	○	○
請願第2号	児童公園用地の確保についての請願	建設生活	採 択	○	○	○	○	○

議員提出議案

第1号	北朝鮮による核・ミサイル問題と拉致問題の解決を求める意見書	省 略	原案可決	○	○	○	○	○
第2号	地デジ放送の受信対策の推進を求める意見書	省 略	原案可決	○	○	○	○	○
第3号	労働者派遣法を改正し、派遣労働者の雇用と権利を守ることを求める意見書	省 略	否 決	×	○	×	×	○
第4号	道路特定財源の一般財源化を求める意見書	省 略	否 決	×	○	×	×	○
第5号	食の安全・安心体制の確立を求める意見書	省 略	原案可決	○	○	○	○	○
第6号	道路特定財源の確保に関する意見書	省 略	原案可決	○	×	○	×	×
第7号	「消えた年金」問題の早期解決と最低保障年金制度等の実現を求める意見書	省 略	原案可決	○	○	○	○	○
第8号	第14号議案吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例に対する修正案	省 略	否 決	×	○	×	×	○
第9号	議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	総務水道	否 決	×	○	×	○	○

平成20年度施政方針

〈一部抜粋〉

平成20年度における当市の財政状況を見ますと、個人住民税においては、平成19年度のような税制改正に伴う増収は見込めず、ほぼ横ばいになるものと見込んでおります。また、法人市民税においては、平成19年度より減収となることを見込まれております。

さらに、地方交付税におきましても平成19年度より減少となる見込みから、依然として市税収入をはじめとする歳入の大幅な増収は見込めない状況でございます。一方歳出におきましては、公債費が減少するものの、扶助費やその他の経常的経費などが増加し、大幅な財源不足が生じております。また、今後を見据えますと、医療制度改革、都市基盤整備、公共施設整備など、新たな財政需要が今までの以上に見込まれており、これらすべてを予算化する財源を捻出することは極めて厳しい状況でございます。以上のことから、歳入の確保に努めるとともに、引き続き、歳出全般にわたる徹底した見直しを行い、限られた財源を効率的に予算配分するよう

努めてまいります。

近年、わが国の人口が減少時代を迎えている中でも、当市の人口は増加傾向にあります。これは、市民の皆様と一緒にまちづくりを進めてきた成果であると固く信じております。私は、「市民主役のまちづくり」をモットーに、市政の主役は市民であるとの思いから、市民の皆様には市政に対して御意見を賜り、また積極的に市政に参加いただきながら、様々な施策に取り組んでまいりました。公共サービスの担い手としての行政の役割は変革期にございますが、今後とも行政は、持続可能な財政基盤を確立して、その責任を果たしていかなければなりません。

これまで当市は、多くの先人の御努力によって今日まで成長してまいりましたが、行政課題も山積しております。しかしながら、私は、こうした厳しい状況を的確に認識し、まちの将来像をしっかりと見据えて、一つひとつの課題を検証し、着実に対応していくことが、何よりも大切であると考えております。6万4千人余りの市民の暮らしを守り、育むことが当市の責務であり、自ら先頭に立って全力で取り組んでまいっている所存でございます。

市長の施政方針に対する

代表質問

定例会開会日に市長より平成20年度の施政方針が報告され、翌日、それに対しての各会派の代表質問を行いました。以下に、その内容の一部を掲載いたします。なお、質問、答弁とも質問者が要約したものです。

※施政方針は市のホームページ(<http://www.yoshikawa.saitama.jp>)の「市長のページ」をご覧ください。

公明党

吉川市議員団

五十嵐恵千子



問 後期基本計画重点テーマの着実な推進を。①実施予算額は。②計画の進行管理は。③食の主な取り組みは。④新駅は、森の駅構想で他市とのちがいを。

答 市長 ①合計約2億9319万7千円。②経営戦略会議で検証、2次評価や見直しで推進。③個人の栄養指導充実や学校給食等を活用した食育指導の充実。④森をイメージできる、公園と一体になった駅前空間が整備されるよう、23年度の開業を目指し協議して行く。

問 ケーブルテレビ放送推進を。
答 市長 活用を考え、放送事業者の情報把握に努めていく。
問 特定保育事業の実施を。
答 市長 ニーズを見込み研究。
問 企業における、障害者雇用「意識改革セミナー」の開催を。

問 市長 必要と考え、取り組む。
問 土・日利用可の(仮)総合福祉健康センターの整備促進を。
答 市長 ニーズ・利便性・建設コストや手法等総合的に研究。
問 道庭緑地内にドッグランを。
答 市長 諸課題クリア後に推進。
問 きよみ野・吉川団地圏内に防犯活動拠点の整備を。
答 市長 県へは要望しているが、犯罪の発生状況を踏まえ検討。
問 不登校児童生徒が通う「宇宙」へ臨床心理士の配置を。
答 市長 連携を図り対応する。

日本共産党

吉川市議員団

佐藤 清治



◇都市計画税導入の再検討を◇
問 導入にむけ作業を進めていくと述べているが、いつ頃までに終えるのか。
答 市民からは多くの反対の声が聞かれる。実施を再検討すべき

ではないか。

(答)市長 今後の都市計画事業を円滑に推進できるよう、また自主財源確保の観点からも21年度に導入していく必要があると判断した。

導入にあたり条例の整備が必要であるが、9月議会に提案していく予定である。

新たにご負担をお願いする中で必要性をご理解いただけるよう努めてまいりたい。

◇新駅の費用負担は◇

(問) 運輸機構と負担割合が3対7で、おおむね合意したとしているが、最大、約15億円近い負担になるが、これまで他の事業への影響を極力ないようにしていくとしてきたが、費用についてのどのように支出していくのか、財源もふくめて伺いたい。

(答)市長 平成20年度から起債の償還の減が見込まれるので、減額のうち相当分を充当していくことで、今後の具体的な資金計画を策定していく。

自由民主党 吉川市議員団

日暮 進



(問) 道路特定財源の市長の考えは。

(答)市長 東埼玉道路や県道・市道の計画的な整備が今後必要であると考えていることから、道路財源は確保または維持されることが、市民生活を考える上で重要であります。

(問) さつき園に替わる新たな施設が予定されているが、入所施設について協議されたか。

(答)市長 入所施設についての検討は行っておりません。しかしながら、親が亡くなった後の生活を案じ、その必要性について十分認識をしておりますので、今後、グループホームの確保に向けて支援してまいります。

(問) 不法投棄は、大きな環境問題と思うが考え方は。

(答)市長 快適な生活環境を維持

するために、重要な課題と認識しています。

監視のためのパトロールの実施など、市民と市が一体となって不法投棄をさせない環境づくりに努めてまいります。

(問) 生活道路の舗装整備は。

(答)市長 幅員4m未満の舗装率は44%で舗装整備が遅れているのが現状です。

沿道の土地利用や、交通状況など現状を精査し、整備を進めてまいりたいと考えています。

市民改革クラブ

伊藤 正勝



関連して「駅南」小中学校の用地確保と建設時期▽まちづくりのビジョン明示と市民中心のまちづくり懇談会の設置を要望。

(答)市長 ▽新駅設置は、吉川駅の混雑緩和や将来発展に不可欠▽今後は広報誌やホームページで情報提供▽新駅建設は、概算49億円のうち運輸機構7、市3の負担割合で合意▽市の財源としては、起債償還額の減が見込まれる▽跡地は所有権が移ると課税対象になる。▽JRとの「覚書」は双方の確認事項、23年度中の開業を目指す▽西口広場は運輸機構、東口広場はJRグラウンドを確保し暫定的に整備▽周辺整備については22年度の都市計画決定の予定▽「駅南」の小中学校は必要、区域内に位置づけてある用地を取得、小学校は24年、中学校は26年目途に準備。▽地域づくりのビジョンについては必要に応じて市民との懇談会を実施したい▽新駅設置は投資することで将来の発展につながるものと考えている。

(問) 吉川新駅の建設と財政問題に集中して質問。▽市民の疑問や不安にどう答えるのか▽駅舎建設と武操跡地整備の考え▽JR東日本との「覚書」の効力▽駅前広場▽新駅周辺整備スケジュールと50%の減歩率について。

市議会ホームページをご覧ください

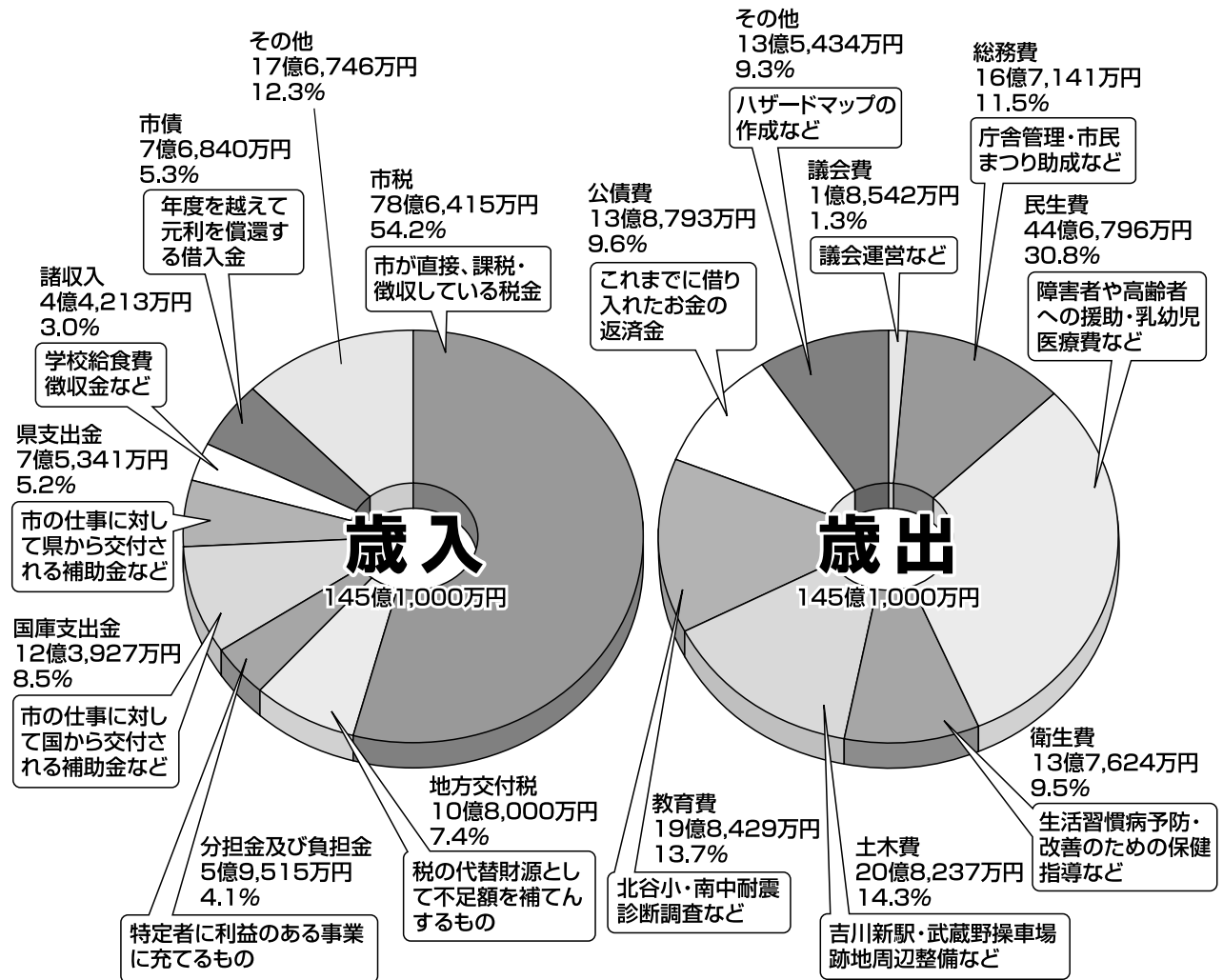
市議会議員の紹介や本会議の会議録、定例会の会期、一般質問通告などが、ホームページでご覧になれます。ぜひご利用ください。

- 市議会のしくみ ■本会議・委員会の傍聴 ■議会だより ■定例会の会期 ■通告者一覧 ■定例会議案処理結果一覧表 ■議員名簿 ■委員会構成名簿 ■会派構成名簿 ■一部事務組合 ■請願や陳情の出し方 ■その他のお知らせ ■議会活動の報告 ■議長交際費 ■関係機関に提出した意見書 ■会議録の検索と閲覧

〈吉川市議会ホームページアドレス〉

http://www.city.yoshikawa.saitama.jp/floor_map/assembly/index.asp

平成20年度一般会計予算のあらまし



「一般会計 予算討論」

第30号議案「平成20年度吉川市一般会計予算」の採決前に行われた反対討論・賛成討論を本人が要約したものです。

反対討論

日本共産党吉川市議員団
遠藤 義法

日本共産党市議団が取り組んだ市民アンケートの回答から平成20年度予算編成にあたっての要望書を提出させていただきました。

その中で、さわやか市民バスの復活や国保税を引き下げること、70歳以上の公共施設利用の減免制度を60歳に戻すことなどを重点項目として実施を求めましたが予算化されていません。平成18年度から3カ年の「行革」で福祉など歳出削減を軒並み実施しました。この時、平成20年度以降借金返済、償還額は減るからと述べていました。借金返済額が平成20年度は19年度に比べて約4億円減るので、削減された市民要望の強い施策の復活や拡充はあたりまえですが全く

されていません。

確かに予算には、障害者支援施設第二さつき園建設のための土地購入費、防犯パトロール活動拠点設置工事費、北谷小学校の耐震診断と補強工事・大規模改修工事設計委託費、南中学校の耐震診断調査委託費などが事業費として計上されており、評価するものです。市民は負担増やサービスカットで生活が困窮しているときだからこそ市は、開発中心ではなく住民の生活を守る施策を実施すべきです。

歳入については、地方特例交付金は、児童手当が拡充されたのに伴い平成18・19年度で市が国のお金を肩代わりしたものを返すというのですが、半分も戻ってきていません。地方交付税も毎年減額です。地方分権といいながらこうした国のやり方が市の財政を圧迫しており、政府への改善の取り組みをもっと進めるべきです。

賛成討論

自由民主党吉川市議員団
加崎 勇

第30号議案 平成20年度吉川市一般会計当初予算について賛成の立場で討論させていただきます。

国の平成20年度の経済見通しでは、世界経済の回復が続く政府と日本銀行の一体となった取り組みなどにより物価安定のもとで穏やかな成長が見込まれております。

しかしながら一方では、本格的な人口減少社会の到来、少子高齢化による社会保障費の増大や、内外における経済構造的な変化など難しい課題に直面しており、地域格差など新たな課題も生じております。

このようなか中で編成された平成20年度吉川市一般会計予算は総額145億1千万円、前年度比4・3%の減となっており、前年度に続き厳しい予算編成となっておりますが、「第2次よしかわ行財政改革大綱」や「よしかわ行財政改革プラン」により、創意工夫されたものと評価するところであります。

その少ない予算のなかでも、北谷小学校の耐震補強・大規模改修工事設計委託料と南中学校の耐震診断の業務委託料を計上し、将来を担う子どもたちが安心して、いきいき生活できる環境づくりが進められるものであります。福祉関係では、さつき園に替わる新たな施設、地域活動センターの用地購入費や、第3期吉川市老人福祉計画・介護

保険事業計画の策定委託料が予算化されております。その他防犯パトロールの拠点施設を作るなど各部門とも市民の生活安全と将来の吉川市のために選択されたものであります。今後とも「選択と集中」を基準に市民のための行政をお願いし、賛成といたします。

賛成討論

公明党吉川市議員
五 金次郎

平成20年度一般会計当初予算は、145億1千万円で、前年度比4・3%減となりました。財源確保が厳しい中、歳入に見合った歳出構造の転換を図った予算編成とうかがえます。

注目し評価すべき点として、
①保第二公園内に防犯活動拠点を整備し広域に防犯パトロールを実施する団体に青色回転灯装着車の貸与を実施することは、市民の防犯意識の高揚と犯罪の抑制に結びつくと考えます。

②「ふれあいデイサービス」を拡大し児童館ワンダーランドで実施することは、介護予防、健康保持、生きがい対策に資する事業と認識しています。

③妊娠中の母親や胎児の健康を守るため、妊婦無料健診を2回

から5回へ拡大し、乳幼児健康診査や家庭訪問などの相談や指導の充実を図ることは、子育て支援のさらなる充実と期待します。

④新たに環境団体との協働により、たばこのポイ捨て禁止や歩行喫煙マナーの啓発を推進することは、喫煙モラルの醸成が図られるものと注目しています。

⑤市内小中学校や学童保育室の「図書配送便」を始めることは、吉川市子ども読書活動推進計画の実施に向けた取り組みと評価いたします。

⑥利用者の利便性に配慮し温水プールの利用形態の見直しなどきめ細かい取り組みを考えます。今後は真に市民に必要な施策を選択し、財源や人材を集中する「選択と集中」を徹底し、市民の暮らしを守る「吉川市らしい」市民主役のまちづくりを切望し賛成討論といたします。

特別会計予算		水道事業会計予算	
国民健康保険	59億2383万円	収益的収入	13億8018万円
下水道事業	13億8741万円	収益的支出	13億5974万円
老人保健	6億2136万円	資本的収入	3億3254万円
農業集落排水事業	3337万円	資本的支出	11億4221万円
介護保険	20億2443万円		
後期高齢者医療	3億886万円		

第3回（6月）定例会の予定

- 2日（月）開会・議案上程
- 4日（水）議案審議
- 11日（水）議案審議（委員長報告）
- 12日（木）一般質問
- 13日（金）一般質問
- 16日（月）一般質問・閉会

議会を傍聴しませんか

皆様の選んだ議員が、吉川市を明るくすみよいまちにするため、日常生活に関わる条例や事業の予算など、大事な案件を審議し、決定しています。

ぜひ、傍聴にお出かけください。

常任委員会の審査概要

総務水道



所管：一般会計の歳入に関する事項
政策室、総務部、会計課、議会、水道課、工事検査課、監査委員、選挙
管理委員会、公平委員会及び固定資産評価委員会に関する事項
他の常任委員会に属さない事項

総務水道常任委員会には、条例7件、平成19年度一般会計補正予算担当分並びに水道事業会計補正予算、また、平成20年度一般会計予算担当分並びに水道事業会計予算の11議案が付託されました。委員全員出席のもとに3日間にわたり、審査致しました。

①第6号議案 職員の自己啓発等休業に関する条例 地方公務員法の一部改正に伴い、職員の能力開発を促進する観点から、修学及び国際貢献活動のために休学することを認めるもので、賛成全員で可決。

②第7号議案 職員の修学部分休業に関する条例の一部を改正する条例 自己啓発等休業制度との整合を図るため、適用範囲を見直すとともに、学校教育法の一部改正に伴い引用条項のずれを訂正するもので、賛成全員で可決。

③第9号議案 吉川市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 非常勤職員の設置及び廃止とこれらのものの一部の報酬を民間状況を勘案し引き上げるとのことで、賛成全員で可決。

④第10号議案 証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正す

る条例 市の機関の請求に応じ出頭し、または参加した者に対して支給する実費弁償についての支給範囲を拡大するということで、賛成全員で可決。

⑤第11号議案 市長等の給料の特例に関する条例 市長・副市長及び教育長の給料月額の特例減額を実施するもので、賛成全員で可決。

⑥第12号議案 吉川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告の趣旨を踏まえ給料表の改定を行うとともに、地域手当の支給率を6%から3%に減額するもので、賛成多数で可決。

⑦第24号議案 平成19年度吉川市一般会計補正予算担当分は、減額理由は事業費及び見込数の確定によるもの。増額理由は被保護者の長期入院による医療費の増加である。全員賛成で可決。

⑧第29号議案 平成19年度吉川市水道事業会計補正予算は、配水管布設工事費の減額は契約額の確定によるもの、駅南地区の進捗状況は、約80%であるとのことで、賛成全員で可決。

の総額は166億円。
負担金は、全国市長会負担金等の減額を行ってきた。団体決算時に余剰金が多いときは見直しを働きかけている。
路線バス補助は、路線数増加と、原油高による燃料費高騰の要因も含めて計上した。
職員数は、11人減となる。減員する部署は調整中である。
相談事業は、5種類で、弁護士による法律相談が多い。多重債務に関しては、商工課を窓口
に庁内連絡会議を開き、体制づくりに入っている。
税源移譲による年度間の所得変動に係る減額措置が講じられる。住民税率の変更に伴う税負担の増加の影響を受ける者は、平成19年度分の住民税から税源移譲により増額となった住民税相当額を還付することとされている。還付方法は、7月末までに申告が必要で、広報、インターネットにより周知を図る。
歳入では、税源移譲により、税収増加。市民の所得状況は、課税標準額により階層別に5階層に分類しているが、すべての階層において増加している。
児童手当特別交付金は、平成18、19年度の児童手当の制度拡充分として、創設されている。
特別交付金は恒久減税の廃止

に伴い、地方の歳入減の激減緩和措置として創設された。平成19年度から21年度の3ヶ年で2千万円ずつと算出している。
地方交付税は、総額は増えていない。基準財政需要額における経常的経費及び投資的経費は圧縮されている。

公債費の減は、住民要望などのある新規事業や拡充事業を計上させていただく等を審議。採決の結果、賛否同数、委員会条例第17号の規定により、委員長裁決で、原案のとおり可決。

⑩第37号議案 平成20年度吉川市水道事業会計予算は、水道事業経営健全化計画を策定しているが、人口予測や財政の収支見通し等を検討し作成する。水道施設の稼働率は計画と現実とで乖離が生じている。いかに稼働させるか、検討する。賛否同数、委員会条例第17号の規定により、委員長裁決で原案のとおり可決。
⑪議員提出第9号 議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例は、市の財政や事業の充実を考え減額すべきでは、の提案理由に、経緯や他団体の状況を理解すべきとのこと。賛否同数、委員会条例第17号の規定により、委員長裁決で否決と決定。

常任委員会の審査概要

文教福祉



所管：健康福祉部及び教育委員会に関する事項

① 常任委員会に付託された案件は、条例5件、補正予算担当分3件、一般会計予算担当分、特別会計予算4件、請願1件の合計14件で、3日間にわたり慎重な審査を委員全員出席のもと行いました。

② 第14号議案 吉川市国民健康保険条例の一部を改正する条例については、課税体系等の見直しを行い、4方式を2方式に変え、税率の改正をするもの。また、委員から平等割を3万3千円とする修正案がだされ、根拠や財源について質疑が行われました。採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決。

③ 第15号議案 吉川市介護福祉総合条例の一部を改正する条例については、所要の改正並びに平成20年度の介護保険の激変緩和措置及び介護福祉施策の一部を変更するための所要の改正をするもの。採決の結果、賛成全員で可決。

④ 第17号議案 吉川市ひとり親家庭の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例については、老人保健法が改正され、平成20年4月から高齢者の医療の確保に関する法律が施行されるため文言の整理をするというもの。採決の結果、賛成全員で可決。

⑤ 第18号議案 吉川市重度心身障害者医療支給に関する条例の一部を改正する条例については、平成20年4月から老人保健制度が後期高齢者医療制度に移行するため、文言の整理等。採決の結果、賛成全員で可決。

⑥ 第19号議案 吉川市国民健康保険条例の一部を改正する条例については、保険事業、葬祭費の埼玉県後期高齢者医療制度との併給調整等を行うための改正。採決の結果、賛成多数で可決。

⑦ 第24号議案 平成19年度吉川市一般会計補正予算(第4号)担当分については、障害福祉費の減額の理由について、当初の見込み人数より利用者が少ないなど。また、光熱水費の増額については昨年の猛暑が影響して冷房やプールの利用が増えた等。採決の結果、賛成全員で可決。

⑧ 第25号議案 平成19年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)については、採決の結果、賛成全員で可決。

⑨ 第28号議案 平成19年度吉川市介護保険特別会計補正予算(第2号)については、地域包括センターの業務内容について質疑があり、採決の結果、賛成全員で可決。

⑩ 第30号議案 平成20年度吉川

市一般会計予算担当分の健康福祉部関係では、福祉有償運送事業の実施内容はその質疑に対し、高齢者や障がい者を対象に行う移送事業である。がん検診・基本健康診査について、健康増進計画と国保等との関連による見通しの立て方に対して、今回の医療制度の改正に伴って、基本検診は保険者にならなくなったが、特定保険指導を保健センターで委託し実施する。教育委員会関係については、栄小学校のマンモス化に伴う取り組みとして、エアコンが整ったプレハブ校舎を最初に利用し、本校舎を特別教室に利用するなどの配慮をした。図書購入費削減の中で、平成20年度は2千7百冊の購入を予定。また、物価の高騰で給食費の値上げにつながるよう献立を工夫し、食材の使い方に配慮しながら進めたいとのこと。

⑪ 第31号議案 平成20年度吉川市国民健康保険特別会計予算については、後期高齢者医療制度へ75歳以上が移行し減少となる。老人保健拠出金12億円が1ヶ月分の拠出になり約1億円と減少し、その反面、後期高齢者支援金で7億円拠出し、その差額が減少する。全体として2億6千5百万円の減額になる等。採決の結果、賛成多数で可決。

⑫ 第33号議案 平成20年度吉川市老人保健特別会計予算については、20年度からは後期高齢者医療で対応することになるため、3月までの清算分の支払いとなる。その後の請求は一般会計からの支出になるとのこと。採決の結果、賛成全員で可決。

⑬ 第35号議案 平成20年度吉川市介護保険特別会計予算については、介護予防事業が始まる中で、20年度は19年度の2倍を予定している等。採決の結果、賛成全員で可決。

⑭ 第36号議案 平成20年度吉川市後期高齢者医療特別会計予算については、全体を3千605人とし、80%が特別徴収と見込まれる。吉川市の平均は8万7490円となっている等。採決の結果、賛成多数で可決。

⑮ 請願第1号 「消えた年金」問題の早期解決と最低保障年金制度の実現を求める意見書に関する請願については、要請1について、国の責任で早急に解決すべきとの意見が多数。要請2については、制度の趣旨は理解できるが、その財源をどうするのか、もっと議論すべきではないかとの意見が多数。採決の結果、賛成全員で採択。

常任委員会の審査概要

建設生活



所管：市民生活部、都市建設部及び農業委員会に関する事項

今回の委員会は、審議案件10件で、内、請願審査1件がありました。

はじめに第3号議案 吉川市防災会議条例の一部を改正する条例を審議しました。増員委員の確認があり、市長が認めた自治会、自主防災組織、医師会、社会福祉協議会の委員を考えているとの答弁があり賛成全員でした。

つぎに第20号議案 吉川市消防委員会条例を廃止する条例を審議しました。新たな消防委員会はどのようなものかとの質疑があり消防団・常備消防等消防行政全般を対象とする諮問組織と聞いているとの答弁で、賛成全員でした。

第21号議案 市道の路線認定及び廃止については、現地視察を行い審査に入りました。開発以前の状況と道路が曲がった経緯はとの質疑があり、畑・宅地で道路の線形は住宅地で交通量が少なく、見通しも良く危険はないと判断しました。さらに、路線廃止後の土地利用についての質疑があり、産廃施設を調整区域に作る場合、都市計画決定が必要な場合もあり、今回は既存が倉庫であり他の用途に変更することはできないとの答弁があり賛成全員でした。また直線

道路へと努力し、産廃施設進出に当たりきちんと目配りをとの内容で賛成討論が一人ありました。

第24号議案 平成19年度一般会計補正予算(第4号)では道路不備による事故の対応策について質疑があり、答弁として職員が週2回道路パトロールを実施し応急修繕を行うか、程度により業者に発注しますとありました。さらに越谷吉川線の概要、道路照明灯、合併浄化槽補助金、自主防災等の質疑があり賛成全員でした。

第26号議案 平成19年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)は、舗装復旧負担金について質疑があり賛成全員でした。

第27号議案 平成19年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)では、使用料減額の質疑があり賛成全員でした。

第30号議案 平成20年度一般会計予算の主な質疑は
① 建築確認申請は
概ね民間80%、行政20%の比率です。まちづくり整備基準条例が施行され指導要綱時より審査制度は高くなりました。

② 耐震診断の補助制度は。
図面がないと市無料簡易診断はできません。補助制度は県内18市町で実施するが市では行っ

ていません。

③ 新栄地区の整備内容は。
平成20年度は2路線416m、工事内容は、240ミリの側溝を300ミリに敷設替え等です。

④ 新駅と都市計画は。
西口は森をイメージ、東口は暫定整備し覚書は概略詳細設計の市負担3割で公共公益施設整備も鉄道運輸機構と協議します。6月に県都市計画審議会を予定しています。

⑤ 協働に関する基本指針は。
市民参画下部組織で公募12名、若手職員12名での策定作業です。

⑥ 喫煙マナーアップは。
平成20年度新規事業として環境ネットワークに委託し市民に啓発するものです。

⑦ 青色回転灯パトロールは。
旭地区センター、東部市民サービスセンターを考えているが、防犯活動団体の意見を聞いて配置は決定したい。今後、犯罪状況などを踏まえ他地域への設置も検討していきます。

⑧ 防犯灯の設置基準は。
市街地では概ね30mに一灯、市街地以外では道路幅員が8m以上で概ね50mに一灯、8m未満では概ね100mに一灯、主要通学路は30mに一灯です。

⑨ マイバック運動の支援は。
レジ袋を断ることがごみ減量の第一歩で、啓発等は環境ネットワークに委託します。

⑩ 東埼玉テクノポリスは。
武操周辺地区も共に農振農用地区での計画で、県より両事業とも困難となるリスクを指摘され、23年度開業の新駅を集中的に調整し進める必要があると判断し、武操周辺地区を優先しテクノポリス拡張事業は先延ばしとなりました。

⑪ ハザードマップは。
17年度の水防法の改正により作成し全国的な取り組みです。採決の結果は賛成多数でした。

第32号議案 平成20年度下水道事業特別会計予算は、武操跡地の接続状況の質疑があり、賛成全員でした。

第34号議案 農業集落排水事業特別会計予算は、賛成全員でした。

請願第2号 児童公園用地の確保についての請願は、市担当課へ土地返還の申し入れを受けた後の市の対応や児童広場代替地の考え方の質疑及び紹介議員への質疑を行い、意見聴取し、賛成全員で採択しました。
重要案件には、特に活発な質疑があった委員会審議でした。

市政に対する

一般質問

一般質問は、3月19日・21日・25日の3日間にわたり、13人の議員が活発な論戦を展開しました。
※質問・答弁とも質問者が要約しました。

江戸川なごみ堤に
桜つつみモデル事業で
新たな観光資源創設を

互 金次郎

(問) 現在、江戸川堤防強化対策事業(なごみ堤)として堤防の拡幅整備が進んでいます。また、鍋小路地区には、普段は市民が河川に親しめる場所として活用できる防災ステーション整備事業が予定されています。
国の「桜つつみモデル事業」は、堤防の強化を図りつつ、桜などを植樹して積極的に良好な水辺空間を形成することを目的としています。観光協会と連携を図りながら、なごみ堤の桜つつみ、防災ステーション、地元

整備を目指し新たな観光資源の創設を図っては。

(答)市長 平成18年度に商工農業若手ワーキンググループから、なごみ堤を利用した桜並木などの提案をいただいています。

なごみ堤近隣地域は基本構想ではレクリエーションの拠点に位置付けられ、また防災ステーション建設が予定されています。提案の桜つつみモデル事業などの活用には、前向きに検討します。さらに深井新田、平方新田の旧堤防地域をネットワーク化して観光拠点として多くの人が集えるような構想も研究します。

放課後子ども教室ですべての
子どもに安全安心な居場所を

(問) 「放課後子ども教室」は、児童保育室とは異なり、すべての子どもを対象に安全・安心な子どもたちの活動拠点を設け地域の方々の参画をいただいで勉強、

スポーツなど様々な交流活動を図る国の事業です。学習機会の提供ができたり、地域の教育力やコミュニティの活性化が期待できる取り組みと考えますが。
(答)教育長 多くの検討事項や課題があり実施は非常に厳しい状況です。現在実施中の体験活動を活用し吉川独自の方法は考えられないか検討します。

深井新田・平方新田
にまたがる排水路の
柵渠整備を

五十嵐恵千子

(問) 延べ約1kmの当該排水路は、農業用排水や、民地約100軒の生活用雑排水を処理する重要な排水路です。素掘の排水路として造られ50年余が経過し、その間整備がされず、これ以上放置すれば、農業への支障、家屋倒壊や財産の損失につながりかねない危険な状態にあります。
①住民参加で早急な危険箇所の整備を要望します。②住民と協働で排水路沿いの農道を「なごみ提」桜堤」とリンクする整備計画を作り、農業・観光での地域活性化を提案します。ご見解を。



—深井新田・平方新田排水路—

(答)市長 手法を研究します。

(答)市民生活部長 ①水流の調査と共に口径の小さな横断管の敷

設替えなどの応急措置を計画的に実施し、簡易な補修は「農地水・環境保全向上対策事業」において地域の皆さんと実施する。
②隣接している「なごみ提」施設整備と関連付けられるように検討すると共に、地域の活性化につなげられないか研究を進めます。

バス路線の利便性向上と豊かな
発想で新移動サービス導入を

(問) 新たに「運転免許返納高齢者割引タクシー制度」の導入を。
(答)市長 事業者を交えた中で検討を進めたい。また、新しい移動サービスは、改正道路交法を踏まえ、地域交通全体との整合性を確保しつつ研究したい。

乳幼児医療費無料化制度の
さらなる拡充を

(問) 現在の就学前までの給付を「満7歳に達する日の属する月の末日まで」の給付に。

(答)市長 医療費支出の傾向や推移を見守っていきたい。満7歳までの給付は研究します。

新型インフルエンザ
対策行動計画
作成について

小野 潔

(問) 昨今マスコミでも多く取り上げられている新型インフルエンザ対策について、平成19年3月、厚生労働省は新型インフルエンザ発生時(フェーズ4以降)に関してガイドラインを発表いたしました。施政方針の重要テーマの1番目に「安全安心のまちづくり」とありますし、市民の生命を守っていくという観点からも大変重要な対策であると考えています。今後、市として新型インフルエンザ対策の行動計画を作成していくお考えはありますか。
(答)市長 当市においては平成18



— 屋内温水プール —

年6月に吉川市危機管理指針を定め、危機対象組織の設置、危機への準備、危機終息時の対応について定めております。

今後はこの指針に基づき感染症の発生に備えたマニュアルなどの作成を検討してまいります。

①異性介護更衣室の設置及び工夫について②採暖室のドアを押して入る現状を引き戸にできないか③目洗い場が一定の高さであるが一ヶ所でも車椅子が入る高さに改善できないか④ジャグジーにスロープを設置できないか。

イドドアに変更できるよう検討してまいります。③既存の洗面器に目洗い水洗機を取り付けるなどの対応を図ってまいります。④十分なスペースを確保しなければならぬため現状では困難です。

高齢者のこれまでの社会貢献に報いる施策を

高野 昇

高野 昇 高齢者は年金が増えない中で、住民税・所得税の増税がもたらされ、国保税、介護保険料も大幅に値上げされ、医療制度改悪も相次ぎ、過酷な負担増の被害を集中的に受けている。医療費補助など高齢者の社会貢献に報いる施策の提供が必要。

子ども医療費 中学卒業まで無料に

問 中学卒業まで無料とする自

治体が広がっている。国・県に制度化を積極的に働きかけることとあわせ、市が率先して制度を充実させてゆくことが必要。

浄化用水の通水で 木売落をきれいに

問 桜並木沿いの木売落は、公共下水道への接続促進や定期清掃等で改善が図られているが、依然として汚水やヘドロの堆積による悪臭がなくならない。浄化用水として二郷半用水を導水するなど積極的な対策を。

また、埼玉県の『みどりと川の再生』事業の活用も検討を。 答 都市建設部長 現在葛西用水路土地改良区において、冬季かんがい用水の一部を二郷半用水から木売落に落としているが、落とす位置が中流部であることや、水の増量等、今後土地改良区にお願いしていきます。また、県の事業の活用も研究してまいります。



越谷吉川線の側道について

中嶋 通治

問 施政方針の中で、人と自然が調和したまちづくりとあるが、吉川市においては区画整理事業の推進により街並みが著しく変貌を遂げている。一方、旧市街地においては国の三位一体の計画により整備が遅れているのも現状であり、越谷吉川線については栄町一区から整備を行うとあるが、沿線の側道についても一体に整備する必要があると思うが。

答 市長 側道については、生活道路として利用されているので、生活に支障をきたさないよう、区画整理組合では、併せて整備すると聞いています。

県道加藤平沼線の北側区域の治水対策について

問 カスミストアの東側区域と東武バス車庫周辺地域では地盤が低く、台風や集中豪雨により度々被害を受けているが、早急な対応が必要と考えるが。

答 市長 カスミストア東側地域



については、東側道路と都市計画街路に管渠を敷設し、アクアパーク経由で大場川に排水します。東武バス周辺地域については第一調整池が平成22年度に完成を予定しています。合わせて雨水が効率よく流入出来るよう整備を実施します。

新栄地区の生活道路の整備について

問 公共下水道の敷設により、道路の痛みが激しく、一刻も早く復旧を急いで欲しいとの要望が有るが今後の予定について。

答 都市建設部長 まちづくり交付金を活用し、平成22年度までには進めてまいります。

市財政の

展望を問う

安田 真也

(問) 三位一体の改革の具体的な悪影響について。また、補助金等が減額される中、独自の税収確保の努力が必要と思うが。

(答)市長 三位一体の改革は、地方分権推進という趣旨だが、それに見合った税配分になっていない。当市では、3ヶ年で1億4千万円の削減。今後、財源の充実を要望する。また、税収確保については武操跡地周辺、東埼玉テクノポリス拡張に力を注ぎつつ、魅力や活力ある都市を造り、安定した財政基盤を作っていく。

地域防災計画について

(問) 相互応援協定をもっと広範な地域と結べないのか。

(答)市民生活部長 今後、機会があれば同時被災する確率が低い地域との締結を検討する。

(問) 災害時の議員の役割が、防災計画に無いが。

(答)市民生活部長 議員は地域の

リーダーの役割であるので、各地域でご協力をお願いしたい。

子育て支援について

(問) 昨年度で、地域子育て力・保育力ランキングを出したが。

(答)健康福祉部長 子育て力が32位。保育力が9位。

(問) チャイルドシートの貸出をして欲しいとの要望があるが。

(答)市民生活部長 交通安全母の会が貸出をしていたが、PL法施行で、安全性が確保出来ないため、現在は行っていない。

農業振興について

(問) 農産品を全国にPRすべきでは。

(答)市民生活部長 花菖蒲、吉川ねぎ等を全国にPRしたい。

都市計画税の

導入について

佐藤 清治

(問) 市長は9月議会に条例を提出すると明らかにした。

来年度から導入された場合の

課税世帯、税率ごとの影響額、最も影響を受ける方の税額、導入の検討にあたって市民の声はどう考えるのか。

(答)市長 その目的や必要性について市民のご理解をいただけるよう説明責任を果たすことが必要であると考えております。

(答)総務部長 平成19年度当初課税における固定資産税の課税デ

ータから試算しますと納税義務者は1万4809人、市で予定している税率が0・25%から0・2%ということでございますので、0・25%で設定した場合、税額が約5億7千2百万円、0・2%で設定した場合には約4億5千7百万円が見込まれます。

個人単位で税額が最高になる方につきましては、土地が約3万9700㎡、家屋が1400㎡所有している方で0・25%の場合、約409万円、0・2%の場合は327万円程になります。

一般的な住宅で、例えば、きよみ野二丁目あたりで建築年次が9年、土地が約150㎡、床面積が108㎡ぐらいの住宅で申し上げますと0・25%の場合1万8千8百円、0・2%の場合1万5千円となる見込みでございます。

学校体育館の整備は

(問) 具体的な改修計画を明らかにすべきではないか。

(答)教育部長 平成21年・22年で耐震診断を実施し、これを踏まえ、平成25年・26年・27年で7校の耐震補強を行っていきたいと考えております。

駅南二郷半水路跡地整備は

(問) 今後の整備の考え方は。

(答)都市建設部長 国の補助制度の研究や市の財政状況を踏まえながら整備を進めていきたい。

「入れ歯回収リサイクルボックス」の設置を

小林 昭子

(問) 入れ歯の金具や詰め物、かぶせ物には、金銀パラジウム合金が多く含まれ、国連児童基金に寄付すると、入れ歯一つで毛布なら8枚、予防注射なら250人分を貧困で苦しむ世界の子どもたちに援助できるとされている。すでに全国29の自治体で

回収ボックスが設置されている。吉川市でもぜひ実施を。

市民バスの復活を求める

(問) 市民バス廃止後、外出に支障をきたして困っているという声が強くなる。木売地域では路線バスも無く、全く交通手段がない。高齢化に伴いこの問題は限界に達している。市民の知恵も生かして、市長として施策を講じるべきだ。

(答)市長 市としては、行財政改革推進プランに基づき市民バスを廃止した。市内路線バスの新たな計画により市内の交通手段



市役所に設置された入れ歯回収ボックス

は見込めると考えた。市としても補助をしている。前の形にすると路線も重複して、事業所撤退になれば、市民の足の確保が今より低下する結果になる。今後はさらに事業者を利用者の声を反映させ、新規路線や本数を増やすよう要望していく。

「福祉人材確保指針」の見直し

問 連続した介護保険法の改悪で、事業所は介護職員を確保できない事態になっている。国の「見直し作業」に向けて市内福祉労働者の声をしっかりと上げていただきたい。

答市長 国は平成21年度の介護報酬改定に向け実態把握の実態調査を行っている。適切な介護報酬が決定されるよう機会をとらえ国に要望していく。

川野橋交差点に信号機設置を

鈴木 加蔵

問 川野橋の北側部分においては、道路が狭くゆるやかにカーブしており、鍋小路用水路側か



川野橋

らさくら通りを横断する際は、特に見通しが悪く危険、交通事故も多数発生しており、早期の信号機設置を。

答市民生活部長 川野橋交差点の信号機設置に関しては平成14年6月に請願が採択され、以降毎年度吉川警察署へ要望書を提出しておりますが、埼玉県公安委員会が交通量等の状況から信号機による交通整理を行う必要性などについて調査し、必要性、緊急性の高いところから順次設置しております。しかしながら、県内警察署から信号機設置要望が多く、厳しい状況と聞いておりますが、今後も引き続き早期設置に向けて要望してまいります。

中川改修整備後の河川敷利用は

問 須賀、榎戸地区の中川が改修され河川敷が広くなるので、運動公園、フラワーパーク、ふれあい広場等、造って欲しいと地元住民はじめ、多くの市民が河川敷の利用を期待しているが。

越谷総合公園川藤線

問 東埼玉道路のアクセスとしても重要です。今後の見直しは。



跡地の活用負担で市民の税金を使わず吉川新駅設置と周辺開発

齋藤 詔治

から反対の意見が寄せられているが、どのように対応していくのかお伺いします。

問 今まさに公共経営（民間の協力）の時代です。恵まれた吉川市の地域性、独自性を十分に生かす地方行政の自立・自活は今進めている武蔵野操車場跡地及び周辺開発です。吉川市を豊かにする最高のチャンスです。土地の売却を進めている国鉄清算事業団に吉川市のためにさらなる負担をお願いし、周辺と一体で市の財政負担の無い、素晴らしいエコロジーのまちづくり。

答市長 埼玉県と共同で開催した公聴会には11人の方から意見口述があり、縦覧者は6人、意見書の提出者は255人の方で657通あり、主な意見内容は跡地と周辺地区93haは一体で整備、土地所有者が一人であり区画整理をする必要がないというもので、当市は跡地を先行整備し周辺地区を段階的に整備する現行方針を変更する考えは、今ありません。また、環境に配慮し災害に強い安全安心なまちづくり等であり、ご意見の趣旨を十分踏まえ反映させてまいります。

国保税の引き下げと健康診査の充実を

遠藤 義法

問 国保加入者は低所得者、無職者が増えており、4人家族で所得が300万円の場合、国保税は38万円を超えるなど、負担が重すぎる。所得に占める国保税の負担割合からも国保税の引

答市長 新駅設置の費用負担は吉川市が30%清算事業団70%で概ね合意、その他新駅設置に必要な用地の無償提供や既存の河川整備等をお願いし、市の財政に特段の配慮をいただいています。

き下げを実施すべきである。市民の健康を守る各種健康診査を拡充すべきである。

〔答〕市長 所得に対しての負担感はある。ただ、国保事業は独立した制度であり、医療費が大きくなると税も大きくなる。今回の税改正で低所得者の減免制度が拡充するように考慮した。

市独自に対象年齢を下げ、40歳未満の方の保健事業にも力を入れていく。

住宅開発に伴う街灯設置義務付けを

〔問〕 きよみ野地区をはじめ街が暗いという声が強く、街灯の増設を進めるべきである。きよみ野地区、駅南開発など開発者に対して街灯設置の義務付けをすべきである。

〔答〕市民生活部長 開発事業者と協議をして設置させてきたが、きよみ野の場合街灯の設置計画に抜け落ちてしまった。今後はもれないよう実施していきたい。

〔答〕市長 事業者が街灯を設置するのは当然で、抜け落ちることなどあつてはならない。

新駅設置と周辺開発、市財政運営について問う

〔問〕 新駅設置に伴う市の負担が

14億7千万円以内と決まった。市長は財源について「市民サービスに影響がないよう」取り組む旨の報告をしてきた。財源捻出と武操跡地周辺開発、他の住宅開発事業に関わる財政計画は。〔答〕市長 償還が平成20年度約4億円減り、その後も減るのでその一部を充てていきたい。駅南開発に伴う学校建設などについては実施計画に含まれている。

人材の育成と市長のリーダーシップ

稲垣 茂行

〔問〕 「まちづくり」の前提は、「人材の育成」ではないか。市民の多岐にわたる要望や将来を見据えた計画実現には、職員の政策実現能力と高いモラルが必要と考える。

同時に、市長がどうリーダーシップを発揮し、かじ取りするのが大切。東埼玉テクノポリス拡張問題や、新駅の負担割合等の協議で、県や鉄道運輸機構との折衝最終局面、市長自らどのように動いたのか伺いたい。〔答〕市長 市民一人一人が豊かさ

を実感できる市政を進められるよう、各種研修を通じ、職員の資質向上を図っている。「どこの誰と、どんな話をどれ位したか」については、差し控えたい。今までも出来る限り、関係機関へ出向き、話をしている。結果として、今の現状があると理解していただきたい。

食育について

〔問〕 本来、個人の食生活のあり方にまで、法律が介入すべきではないが、食料自給率、食文化の崩壊、健康、食の安全・安心等、「食」をめぐる、今日の危機的状況をみると、積極的に取組みを行うべきと考える。

市の基本的な考え方と学校・家庭・産業との連携、特色あるまちづくりとの関連は。

〔答〕市長 「食で育む健康のまちづくり」を後期基本計画の重点テーマとし、保健・栄養指導、地産地消等を推進している。各分野での事業を進め、特色あるまちづくりに、つなげたい。

〔答〕教育長 栄養バランスのとれた食事をすることは、心身の成長期にある子どもたちにとって重要。家族とのふれあい、マナー、生活習慣等の社会性を高められる。家庭での教育力向上を

さらに図るため、家庭教育学級等、今後も各種研修を進める。

県道の整備で

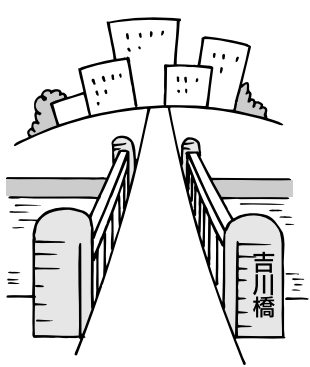
動線が変わる 早期の取り組みを

伊藤 正勝

〔問〕 主要な県道2本、県施工で越谷～吉川線(吉川橋～大場川)の25m道路と三郷～吉川線(三郷～外環～さくら通り・関小、角)の22m道路の整備が進む。吉川橋の架け替え、武蔵野線の新トンネルを含め計画の進捗状況を確認したい。

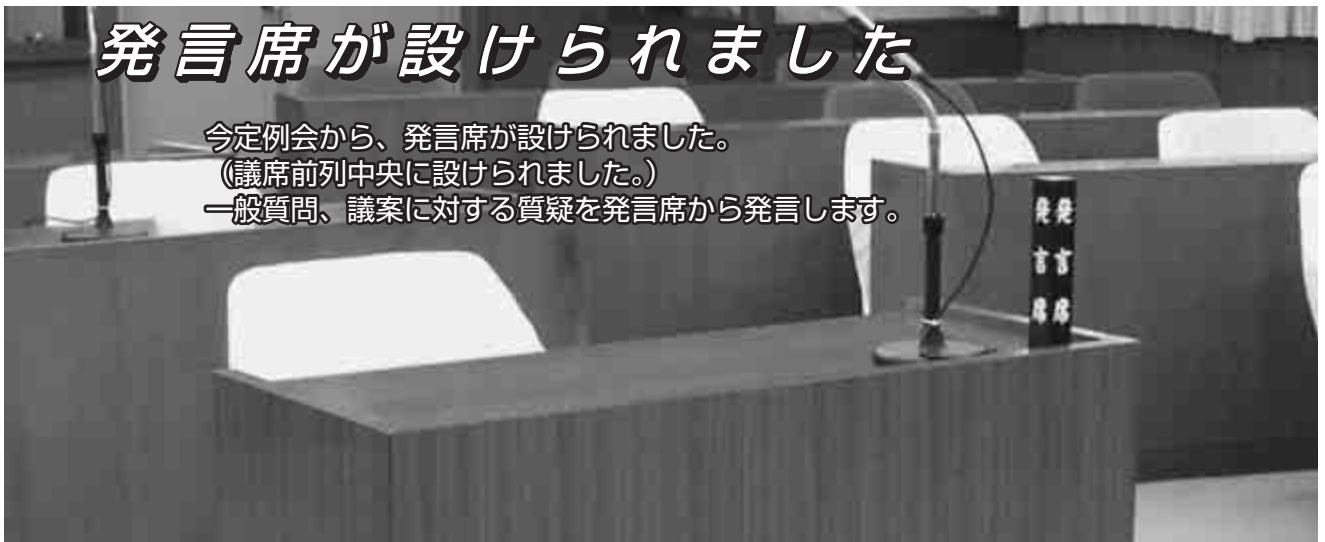
〔答〕都市建設部長 越谷～吉川線は吉川橋から交番までを平成25年度までに整備予定。交番からさくら通りまでは整備済み。残りのさくら通りから大場川までは中央土地区画整理事業で、20年度から一部工事に入り25年度までに整備。吉川橋は延長617m、幅員23～43m、工事期間は3年程度。仮橋は歩道橋のみとのこと。武蔵野線新トンネルは21年10月完成予定。延長74m、幅員22・5m。三郷～吉川線は22年度中に計画の全線開通の見通し。

〔問〕 「レイクタウン」の誕生で大勢の人が中川を渡ることになる。工事終了は10年後との見方もある。吉越橋1本では心配。県の調査では1日の交通量はどの程度なのか。新川橋手前のいびつな未整備道路(未買収)の解消も強く求めておきたい。〔答〕都市建設部長 17年度のデータだが越谷側で1日1万4千台、野田橋近く1万4千台、玉葉橋近く1万3千台。吉川橋完成後は2万6千台と県では予測。〔問〕 さくら通りの関小の角までの整備区間を早期に県道川藤～野田線まで延長して欲しい。このままでは大量の車がきよみ野を抜けて走ることになる。関小～会野谷線は幹線だがきよみ野は住宅街だ。交通の動線が変わる前に県道の整備延長を働きかける必要がある。〔答〕都市建設部長 県に要請しているがさらに働きかけていきたい。



発言席が設けられました

今定例会から、発言席が設けられました。
 (議席前列中央に設けられました。)
 一般質問、議案に対する質疑を発言席から発言します。



議会日誌

【1月】

- 6日 吉川市消防出初め式
- 10~11日 埼玉県市議会議長会第4区議長会研修会
(茨城県つくば市)
- 13日 吉川市成人式
- 17日 埼玉県、県市議会議長会共催による新年懇談会
(埼玉県知事公館)

【2月】

- 8日 埼玉県市議会議長会議員行政研修会
- 15日 公明党吉川市議団会派行政視察
(深井新田・平方新田用水柵渠)
- 18日 公明党吉川市議団会派行政視察(屋内温水プール)
- 21日 議会広報委員会
公明党吉川市議団会派行政視察
(草加市市民温水プール)
- 22日 議会運営委員会
- 28日 第2回定例会本会議(開会、施政方針演説、議案上程)
- 29日 本会議(代表質問)

【3月】

- 4日 本会議(議案審議)
- 5日 本会議(議案審議)
- 7日 委員会(総務水道常任委員会・文教福祉常任委員会
… 議案審査)
- 10日 委員会(総務水道常任委員会・文教福祉常任委員会
… 議案審査)
- 11日 委員会(建設生活常任委員会… 議案審査)
- 12日 委員会(建設生活常任委員会… 議案審査)
- 13日 委員会(文教福祉常任委員会・建設生活常任委員会
… 請願審査)
- 18日 本会議(委員長報告)
- 19日 本会議(一般質問)
- 21日 本会議(一般質問)
- 24日 委員会(総務水道常任委員会… 議案審査)
- 25日 本会議(一般質問、閉会)
- 26日 東埼玉資源環境組合定例議会
- 27日 吉川松伏消防組合定例議会
- 31日 議会広報委員会



左上から 小野委員・中嶋委員・遠藤委員
野回委員・稲垣副委員長・松崎委員長・高崎委員

今号より新たに選任された議会広報委員で編集してまいります。
 市民の皆様喜んでいただける議会だよりを目指して活動しますので、よろしく願いいたします。

編集後期

広報「よしかわ」の3月号に新しい議員の記事が掲載されていきました。1月27日に投開票が行われ、新たに20人の議員が決まりました。2月6日には、臨時議会を開催し、正副議長、各常任委員の選任がされました。常任委員会の構成も4委員会から3委員会に統合されて新議会の構成も決まりました。第2回3月定例会は2月28日から、3月25日の27日間の会期で行われ、市長施政方針演説で始まり、後期高齢者医療制度、国保税では今までの4方式から2方式に改正され新たな制度が4月からスタートいたしました。また、新駅整備についても市の負担割合が3割でほぼ合意された等々。様々な政策を展開していく中での行政課題も山積しておりますが、市民の皆様によりよい行政サービスが提供できるよう取り組みをしてまいりたいと思います。また、定例会ごとに発行される議会だよりでは、議会審議の内容を傍聴に来られない方のために、つぶさにより早くお知らせすることを心がけ、皆様に読まれ、親しまれる議会だよりにしてまいりたいと思います。(M・M)

お知らせ

目の不自由な方のために、『よしかわ議会だより』のテープ・CD版を朗読サークル「きんもくせい」で作成しています。ご家族やお知り合いの方で、ご希望される方は、下記までご連絡ください。

連絡先 吉川市吉川二丁目1番地1
 吉川市議会事務局 ☎982-9421(直通)